

# 牧草園藝



# 緑 作 (春播)

近年の畑作地帯での地力の低下は甚しく、その対応策としてはイネ科作物を含む輪作体型の確立と有機物の土壌への還元が急務とされています。

畑作経営におけるイネ科作物は小麦が主体となりますが、この小麦も2～3年前までは採算が合わないうこと、秋播した場合雪腐れによる廃耕が多いこと等により栽培面積は少ないものでした。

しかし、合理的な輪作体型を組むためにはどうしても麦類が必要であり、また雪腐予防薬としてトップジン、PCPが普及したこともあり、第1表

第1表 道内の小麦作付面積の推移(ha)の通り小麦の栽培面積は急速に増加し

ており、今年も前年比1割増の作付が予想されています。

しかしながら生産された麦稈は炭素率が70～80と非常に高く、このまま鋤き込むと後作物に悪影響(窒素飢餓)を与える場合があります。

その手軽な方法の一つにアカクロバの間作があります。その方法は

- ① 秋播麦類……早春の追肥時にクロバ(2～3kg/10a)を畦間または全面に播種し、直ちに中耕を行う。
- ② 春播麦類……麦類の播種時もしくは発芽直後

第4表 ライグラス播種期試験

播種日 (月日)	品 種 名	生 草 収 量 (kg/10a)				
		1 番 草	2 番 草	3 番 草	合 計	同 比
5. 6	マンモスA	2,450 (7.17)	1,976 (8.22)	1,678 (11.6)	6,104	99
	テトリライト	2,409 ( "	1,901 ( "	1,784 ( "	6,094	98
	マンモスB	3,211 ( "	1,807 ( "	1,170 ( "	6,188	100
5.15	マンモスA	2,602 (7.25)	1,507 (8.31)	1,520 (11.6)	5,631	99
	テトリライト	2,678 ( "	1,567 ( "	1,294 ( "	5,539	97
	マンモスB	2,883 ( "	1,667 ( "	1,152 ( "	5,702	100
6. 1	マンモスA	2,485 (8.10)	1,708 (9.17)	591 (11.6)	4,784	94
	テトリライト	2,225 ( "	2,070 ( "	538 ( "	4,836	95
	マンモスB	2,473 ( "	2,088 ( "	538 ( "	5,099	100

(註) 1. ( )内数字は刈取りの月日を示す  
2. 生草収量には、刈取り残茎部、根部を含まない

にクロバ(2～3kg/10a)を畦間または全面に播種する。

いずれの場合もクロバに対して、播種時は無肥料とし、麦刈後若干の追肥を行います。麦類に対する肥料(特にN)が多すぎるとクロバの生育が不良となる場合があります。

第2表 秋播小麦へのアカクロバ間作効果

項 目 試験場(場所)	緑肥収量 (kg/10a)	跡地効果(収量比%)		跡地栽培作物
		単 作 区	緑 作 区	
北農試(琴似)	1,700	100	127	春小麦
十勝農試(帯広)	1,340	100	126	春小麦
上川農試(永山)	2,820	100	134	甜 菜
渡島農試(大野)	2,720	100	286	玉蜀黍

第3表 牧草栽培による犁底盤の固さの変化(田村昇市)

作 物 名	耕 作 前	耕作1年目	耕作2年目
大 豆	100	124	112
アルサイクローバ	100	74	50
ア カ ク ロ ー バ	100	58	29
アルファルファ	100	51	41
チ モ シ ー	100	97	73

第2表に秋播小麦へのアカクロバ間作効果を示しましたが、その緑肥効果は顕著です。

また大型機械が畑を走行すると犁底盤ができ、これができるると畑作物の根はこの固い層を突き破ることができず。著しく生育不良となります。しかし第3表の通りアカクロバの根はこの層を突き破り膨軟にします、しかもこのクロバの根の分解により土壌は団粒構造となり、再び固い層はできにくくなります。

春播の緑作としては麦類へのアカクロバ間作のほかに、耕地に余裕があれば緑作休閑地を持つ

(札幌研究農場) ことも一つの方法です。この場合の主な作物としてトウモロコシとライグラスが挙げられます。

トウモロコシは炭素率、収量の関係で晩生種が好ましい。また刈取って他圃場への搬出を図る場合にはイタリアンライグラスが好適します。第4表にイタリアンライグラスの収量を示しましたが、根部収量を含めるとトウモロコシと略同等の収量が期待できます。

トウモロコシは炭素率、収量の関係で晩生種が好ましい。また刈取って他圃場への搬出を図る場合にはイタリアンライグラスが好適します。第4表にイタリアンライグラスの収量を示しましたが、根部収量を含めるとトウモロコシと略同等の収量が期待できます。